

科目	インターネット基礎論	担当	野村 淳一	履修学年	1年
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	必修	単位数	4単位

【授業目標・到達目標】

インターネットの普及により、コンピュータおよびネットワークの技術 (ICT) に関する知識や活用能力は、現代を生きる私たちには必須のスキルとなった。社会においては、コンピュータを用いた情報処理能力が自己実現を左右する大きな要因となっている。この科目において、受講生は基礎的なコンピュータおよびネットワークの知識と情報処理運用能力を修得できる。

本科目の到達目標は、身につけた知識や技能を用いて、現代社会におけるICT利活用の現状を説明したり、コンピュータを用いて指定された文書などを作成する能力を獲得することである。

【履修注意】

■各週、講義1時限、演習1時限の授業が開講される。どちらもパソコンを毎回持参すること。

■演習においては、各回の課題を確実に作成・理解していく受講姿勢が求められる。

【評価方法】

定期試験 (50%)、演習課題 (50%) に受講姿勢を加味し、60%以上の評点を得た学生を単位認定する。なお、講義・演習のどちらかで、6回以上欠席した学生は単位認定しない。

【試験について】

講義内容に関して筆記試験を行う。演習については毎回の提出物で評価するため試験は行わない。

■再試験対象者の条件: 定期試験受験後の評点が50%以上60%未満の者

【予習・復習】

演習においては、徐々にステップアップした内容となるため、毎回の課題内容を90分以上復習し、次回の授業に臨むこと。また、講義においては、内容に関する復習問題を用意するため、90分以上真摯に取り組むこと。

【教科書】

購入教科書なし。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	オリエンテーション	講義: 概要説明、学内システム紹介演習: 電子メール(1)
3・4	ネットワーク基礎	講義: ノード、リンク、データ・情報・知識演習: 電子メール(2)
5・6	コンピュータ基礎	講義: 五大装置、ハードウェア、ソフトウェア演習: 文書作成の基礎
7・8	情報理論	講義: クロード・シャノン、コード化、ビット演習: 図の作成
9・10	デジタルデータとコンピュータ	講義: デジタル、アナログ、マルチメディア演習: 文書作成と描画
11・12	アナログ・デジタル変換	講義: 標本化・量子化・符号化、標本化定理演習: 表計算とグラフ
13・14	ファイル形式と文字コード	講義: 圧縮・伸長、拡張子演習: 図的表現と文書作成(1)
15・16	前半のまとめ	講義: コンピュータ基礎のまとめ演習: 図的表現と文書作成(2)
17・18	インターネットの成り立ち	講義: ARPANET、クライアント、サーバ演習: 文書と表計算の活用
19・20	LAN	講義: トポロジ、イーサネット、LAN接続機器演習: 文書作成の応用
21・22	回線接続サービス	講義: ブロードバンド、ISP演習: Webページ作成(ソフトの活用1)
23・24	TCP/IP	講義: パケット、プロトコル演習: Webページ作成(ソフトの活用2)
25・26	IPアドレスとドメイン	講義: 名前解決、プロキシ演習: Webページ作成(ソフトの活用3)
27・28	電子メールとWebの仕組み	講義: POP、IMAP、SMTP演習: Webページ作成(HTMLの利用)
29・30	情報倫理	講義: デジタルアイデンティティ演習: Webページ作成(CSSの利用)
31・32	期末試験	復習・確認・総まとめ